

前週例会（6月23日）レポート

ニコニコBOX 創立第2279回例会 20件 計 76,000円 累計 1,686,000円

- 吉田先生にお世話になりました。 松村君
- 今年も県展に作品が入選しました。 松村君
- 立野さんにお世話になりました。 坂井君
- 永年に渡りお世話になりました。 三好真君
- 三好さんご苦勞様でした。 三井君
- 皆様1年間お世話になりました。 清水君
- 皆様に感謝申し上げます。 長谷川君
- 執行部の皆様1年間ご苦勞様でした。 立野君
- 清水会長、長谷川幹事さんご苦勞様でした。 関谷君
- 清水会長、長谷川幹事お疲れ様でした。 池内君

- 清水会長、長谷川幹事1年間ご苦勞様でした。 市原君、尾崎君、東 君
- 会長、幹事1年間ご苦勞様でした。 三井君
- 清水さん、長谷川さんおつかれ様でした。 藤久君
- 清水会長、長谷川幹事、大山さんお疲れ様でした。 長瀬君
- 副会長無事終了しました。 赤田君
- 委員長無事終了しました。 北岡君、野村君
- 早退お詫び。 篠原君

幹事報告

○例会臨時変更のお知らせ

月 日	曜	クラブ名	例会場	→	月 日	曜	場 所	時間
6/25	木	観 音 寺 R C	観音寺商工会議所会館	→	6/25	木	琴弾荘	18:30

会長・副会長・幹事報告

○会長報告……清水会長

2014-2015年度、第2670地区 佐々木善教がバナーは、ゲイリーC.K.ファン R I 会長の、地域社会でクラブを強化し、「ロータリーに輝きを」のメッセージから、「個々の光で一隅を照らし、共に世界を輝かそう」というテーマを掲げられました。そこで私は、当該年度のスローガンを「一人ひとりが『熱い思い』を持って」と題し、全員が積極的に参加してもらえらるプログラムを目標においた事業計画をスタートしました。そしてゴールを迎える今、1年間を振り返り、沢山の感謝と感激の積み重ねから、その任を終える者として少し達成感と満足感を感じております。特にクラブの高い例会出席率には、参加して頂いた皆さんは基より、それを導いた運営スタッフの皆さん方のお骨折りに、ここから感謝申し上げます。例えば、年間を通して活気ある例会を行うことができたのも、出席率80%超えが何度もあったことも、皆さん方のクラブに対する帰属意識の高さと、意義のある例会プログラムを企画して頂いたことに運動した結果ではないでしょうか。中でも、知的障害者就労支援施設「ほのぼのワークハウス」や「カフェはばたき」等での移動例会、家族にもご参加頂いたクリスマス親睦家族例会、あるいは香南アグリムや志度ワイナリーでの職場例会も同様で、趣意に沿って意義深く、楽しく盛り上げて頂きました。地区大会、I M、あるいは非公式行事の探究会、ロータリーデーなどでは、その目的に応じた成果が得られたことに満足しました。社会奉仕の分野では、委員会予算と財団新地区補助金制度の併用で、知的障害者支援施設「ほのぼのワークハウス」に調理機材を寄付させて頂き、さらに会員の個人負担で、授産品をご購入頂きました。加えて、過去にご縁のあった「あゆみ園」「サン」にも細やかながらご奉仕をさせて頂き、交流を持たせて頂きました。その他にもクリスマス親睦家族例会の折り、キヨスクに手配頂いた東北物産品のご購入など、折々に会員のご負担を増す事業企画を立てたのにも関わらず、こころよくご協力頂きました。それら社会奉仕活動の浄財となる、寄付関連事業では、ニコニコをはじめ、財団、米山奨学の何れもが、目標額を大幅に上回ることができました。皆様には、ご支援を深く感謝申し上げます。キッズ料理教室や短期交換留学生の受け入れでも、関係委員会、関係者のお蔭をもちまして、つつがなく遂行することができました。他にも、会員増強・クラブ奉仕・会計など目立たないポジションで縁の下の方たちとなってお務め頂いた皆様方、本当にご苦勞様でした。総評として、入会年度の浅い方のご活躍、ベテランの方のご支援が際立ち、時として運営する側から、時として参加する側から、皆さんがそれぞれのそのシチュエーションとその立場から、『熱い思いを持って』クラブ活動にご参加頂き、高松東ロータリークラブが「全員野球」ができた年度であったことをご報告申し上げます。最後に、会長の任をお受けしたことで知った、そして触れることの出来た皆さんの奉仕のこころと温かさに深く感謝、感謝、そしてまた感謝であった1年間でした。本当にご支援ご協力ありがとうございました。最後の最後に長谷川幹事、都度都度の根回し、本当にご苦勞様でした。

○副会長報告……赤田副会長

「一人ひとりが『熱い思い』を持って」がクラブ方針である清水会長、長谷川幹事体制の年度末を間近に控え、1年間を振り返ると、「ほのぼのワークハウスへの社会奉仕事業」「caféはばたき・あゆみ園での移動例会」「香南アグリムでの職場例会」「さぬきワイナリーでの職場例会」等、どれも「熱い思い」が印象に残る行事がたくさんありました。その他の事業や例会でも奉仕プロジェクト委員会、会員増強委員会、管理運営委員会それぞれの委員長様、スタッフの皆様、水面下でのご尽力、大変ありがとうございました。会計とS.A.A.の皆さん、副幹事さんも同様に毎回毎回お疲れ様でした。そして清水会長、長谷川幹事さん、大役をまっとうされ、きっと少し肩の荷を下ろされかけて、今日の例会に臨まれたのではないのでしょうか。お二人の奉仕活動と例会運営は、水面下での根回しや調整等を含め、横で勉強させて頂いてきました。次週最終例会と業績報告書作成のお仕事が残されているとは言え、声を大にして「ご苦勞様でした。そして1年間ありがとうございました」と申し上げます。最後に2015-2016年度を目の前に迎え、今、お二人からバトンを受けようとしております。藤久幹事と一緒に、精一杯頑張りますので、どうか本年度同様に皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。以上、皆様に感謝をこめて副会長報告とさせていただきます。1年間たいへんありがとうございました。

○幹事年間報告……長谷川幹事

まずは、皆様に深く御礼申し上げます。「この1年間、皆様には大変お世話になり誠にありがとうございました。」不安いっぱいスタートした去年の7月から早いもので1年が経過いたしました。その間、至らぬ点、失礼な点等、多々皆様にはご迷惑をお掛けしたと存じます。しかし、皆様のご協力やお力添えによって何とかゴールを迎えることが出来ました。これまでロータリーに対して積極的な出来ない時期もあったりしましたが、清水会長からお声掛け頂き、今年度幹事を経験させて頂いたこと、本当に良かったと思っています。いろいろな経験が出来たこと、勉強になったことは数えきれません。思い上がりかもしれませんが、特に社会奉仕活動に関しては合格点をいただけるのではないかと考えております。あと業績報告が残っておりますが、清水会長そして皆様と共に、この伝統ある高松東RCの歴史の1ページを何とか刻むことが出来たのではないかと考えております。皆様、本当にありがとうございました。

